



独立行政法人国立病院機構  

**松江医療センター**  
**呼吸器病センター**  
 〒690-8556  
 松江市上乃木5丁目8-31  
 TEL (0852) 21-6131 FAX (0852) 27-1019  
 URL <https://matsue.hosp.go.jp/>

発行責任者  
 院長 中島 健二  
 編集者  
 事務部長 前田 悟



**宍道湖から見える美しい日の出**

出雲空港近くの宍道湖西岸なぎさ公園から撮影。この日は天気が良く日の出前からカメラを持った人が撮影していました。松江水郷祭湖上花火大会では多くの人々が訪れます。



令和2年(2020年)「新年のご挨拶」 …… 2  
 教育研修部コラム「甘い」 …… 3～4  
 院内認定士 認定証授与式 …… 4  
 永年勤続表彰 …… 5  
 第73回 国立病院総合医学学会に参加して …… 6～8  
 地域医療連携交流会 …… 8  
 松江呼吸器セミナーを終えて …… 9  
 医師紹介 …… 9  
 令和最初の1階病棟忘年会 …… 10

「第156回 松江医療センター  
 肺疾患懇話会 特別講演会」を開催して …… 10～11  
 松江を駆ける …… 11  
 出前講座 …… 12  
 出前講座のご案内 …… 13  
 開業医紹介 …… 14  
 地域医療連携室だより …… 15  
 国内最大級の病院ネットワーク …… 16～17  
 外来診療表 …… 18

**基本理念** 私たちは、真心と思いやりをもって良質な医療を提供します。





## 令和2年(2020年)「新年のご挨拶」

院長 中 島 健 二

新年あけましておめでとうございます。皆様にはそれぞれの希望や期待を持って新年を迎えられたことと存じます。まずは、今年の皆様のご健勝を祈念したいと思います。

2019年もいろいろなことがありました。年号が平成から令和に変わりました。地域医療構想の議論と報道もありました。

2020年をどんな年になると予測されていますでしょうか？今年の十二支は「子年」とされますが、干支（十干と十二支）は「庚子年」とであるとされます。「庚」は結実・形成・転身を表して「新しい環境への対応を整える年」を意味し、子年は増えるという意味があるようで、「庚子年」は新しいものを作る年となるようです。

当院は、呼吸器疾患、神経難病や筋ジストロフィー・筋萎縮症、重症心身障害の医療を担い、政策医療・地域医療に取り組んで来ており、この方向性は変わりません。一方、患者数などの変化を見ると、増加する領域、減少する領域など、変化がみられるところもあります。そのような変化があっても、どの領域も当院にとって変わらず重要な診療領域であり、また、積極的に取り組み続けていると、ちょっとしたきっかけでその方向が変わることもしばしばみられます。地域から当院が必要とされる医療を、引き続き担っていくことが大事であると考えています。

当院は、「呼吸器病センター」として多数の呼吸器疾患の診療に当たっており、その入院・外来の受診患者さんの数は松江圏域で最多です。「島根県がん診療連携拠点病院に準じる病院」として肺が

ん診療にも取り組み、結核や肺炎、気管支喘息や慢性閉塞性肺疾患、睡眠時無呼吸症候群や気胸などすべての呼吸器疾患に対応しています。

筋ジストロフィー・筋萎縮症や神経難病の医療にも対応しています。当院は、「島根県難病診療分野別拠点病院（専門分野：神経）」に指定され、神経難病の診断から治療まで、在宅診療の支援や療養も含めた全経過を通じての対応を行っており、外来や入院の神経難病の患者さんの増加がみられています。松江圏域最多の脳神経内科専門医数を確保し、進歩する神経難病医療の提供を心掛けています。

重症心身障害児（者）の医療も担っています。長期入院のみならず、短期入院の方の増加もみられ、在宅療養支援の取り組みも進めています。

この1月から、特命副院長として井岸先生が赴任されました。井岸先生の専門は呼吸器内科であり、当院の呼吸器内科診療の発展に向けて取り組んで頂けるものと考えています。また、当院が担ってきている神経難病・筋ジストロフィーや重症心身障害児（者）の医療の整備も進めて頂けるものと思います。病院一丸となって、地域から必要とされる医療を提供し、受診される患者の方々の一層の増加にも応えるように医療の提供体制整備を進め、経営改善も進めて頂けるものと考えています。

皆様方には、一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。



## ～教育研修部コラム～

### 「甘い」

呼吸器内科医長・教育研修部長 門脇 徹

あけましておめでとうございます！  
本年も教育研修部をよろしく願いいたします！

お屠蘇はそれなりにいただきましたし、元々酒好きな私ですが、いわゆる辛党ではなく、甘いものも好きです。しかし、甘いものはやはりハイカロリーなので気をつけないと太ります。ってことでできるだけ摂らないようにしています。でも食べたい時には適量食べることにしています。適量ならまあいいでしょ？（笑）

その「甘い」と同じ言葉なのに、私が20年前に当時の指導医の先生に告げられた「甘い」という一言はそれとは真逆のほろ苦い思い出となっています。

研修医の1年目。大学病院の外来では様々な雑用を研修医がこなす必要があります。初診の患者さんの問診係、検尿・検便係、心エコー検査の補助、外来担当医のシュライバー（診察する先生の書記・補佐係）、注射係などなど。とある日の私は問診係でした。その日に来られたとある患者さんは「咳がなかなかよくなる」という訴えでした。咳の性状、痰は伴うか？、咳は1日のうちでいつ多いか？、咳の引き金となるものはあるのか？、既往歴は？云々……。必要なことをひと通り聞いてまとめました。そして診察担当だった指導医の先生の元にカルテを持って行きました。ふう。それだけでは当然終わるわけもなく、ひっきりなしに来られる患者さんの問診を、外来の責任者の大学院の先生の指示のもと、ひたすら取り続けていました。終わったころにはその咳の患者さんのことは忘れていました…。

その日の午後は比較的穏やかに時間が流れていました。遅い昼食を終え、附属病院の1階を歩いていると、指導医の先生がもう1人の先生と向こうからやってきます。どうやら先生方も遅い昼食を病院のレストランで終えて出てきたところのようでした。私を見つける

と、「あの咳の患者さん、ちゃんと問診とった？」と質問。

慌てて思い出し、「ハイ、ちゃんと話は聞きましたけど…」と恐る恐る答えたところ、

「あの人ACE阻害薬（降圧剤。副作用として咳が有名。）飲んでたでしょ？ちゃんと問診で聞いた？その咳だと思うけど？」

「あ…（絶句）」

指導医の先生はニヤリと笑いながら「甘い！」と言。

私の肩をポンと軽く叩いて去って行きました。ヒラヒラと白衣がなびく後ろ姿がカッコよかった（笑）。対照的にそこに残された自分はそれはそれはカッコ悪かった…。

痛恨のミス。与えられた仕事（問診）をちゃんとこなせていませんでした。指導医の先生のご指摘はまさにごもつとも。私の仕事が甘すぎたのです。「できたつもり」でした。ちょうど仕事に慣れ始めた頃の「甘い」考えの私に喝を入れるには十分すぎる一言でした。

その「甘い！」の枕（詞）に当時の自分はいろんな言葉（主語）を入れて反芻しました。「問診が甘い」「仕事が甘い」「詰めが甘い」「お前が甘い」「考えが甘い」…。勝手にひとりで落ち込み、その1日は恐ろしく凹んだことを今でも鮮明に覚えています。後日知ったことですが、その患者さんは原因薬をやめただけで長く悩んでいた咳が良くなったんだそうです。よかった。でも、自分の仕事が「甘く」なければ、それで終わっていた話。指導医の先生がカバーしてくださり、解決して何よりでした。

「甘い」仕事はしないこと。研修医1年目の夏。心に誓いました。

これだけじゃありません。研修医のころに得た教訓や見たもの聞いたものは自分の血となり肉となり骨となっています。

新人さんも、先輩や上司からされたダメ出しはそれはそれは厳しいことでしょう。凹むこともいっぱいあるでしょう。しかし、それは必ずあなたの肥やしになります。「甘い」思い出にはならないでしょうけど、それを乗り越えようとする、乗り越えていくことが大事なのです。そうすると次のステージに上がれま

す。まあ、そうするとまた壁に当たるかもしれません。まあ、そんなもんです。医者になって21年目の私でもずっとそうなんです。そんなもんなのです。

誰かがやってくれるだろう。そんなふんわりとした期待感を持っているうちはまだまだ「甘い」。プロフェッショナルなら、やらないあかんことは自分がやらないあかんです。それができないのならまだまだ修行が足りん。ぼんやりしてれば、ことが勝手に進んでいくような「甘い」世界ではないのです、この世界は、決して。

## 院内認定士 認定証授与式を行いました

教育研修部副部長 古門 千代美

平成30年度、以下の方々が認定され授与式を行いました。

* 院内認定呼吸器ケア看護師	黒田 梢	(4階西病棟看護師)
	福田 香苗	(4階東病棟看護師)
* 院内認定重症児者看護師	川島 香菜子	(2階病棟看護師)
	渡部 つく志	(3階病棟看護師)

教育研修部は、設立時（平成23年）より院内認定コースを設けて様々なスペシャリストを育成してきました。各分野で養われた経験・知識・技術をもとに専門性の高い医療の提供を目指しています。現在は、呼吸器ケア、医療機器マスター、重症児者看護、神経・筋疾患看護、肺がん化学療法看護の5分野があります。

院内認定士の資格取得は、1年間の教育プログラムによる教育課程を受講し、筆記試験やケースレポートをまとめ発表を行い、審査を経て合否判定されます。創設以来8年間で計55名の院内認定士（看護師、理学療法士、作業療法士）が認定されています。

今年度も8名の方が資格取得のためチャレンジされ、毎月受講しています。

さあ、皆さんもキャリアアップに資格取得を考えてみませんか？お待ちしております。





# 永年勤続表彰



薬剤部長 引地 正人

永年勤続30年という事で表彰していただき、ありがとうございました。  
 時を現す言葉に、「十年ひと昔」という言葉があります。  
 30年前となると、さん昔ということになるのでしょうか。「むかし、むかし、むかし、ある所に、……」ということになります。  
 「光陰矢の如し」とも言います。実際、矢のように速かったかどうかはよく分かりませんが、30年前と現在では全く異なる世界になっていることは確かです。  
 例えば、電子カルテは、導入され始めて、たかが十数年ですが、今では、電子カルテのない世界が想像できないほど、当たり前ものになっています。他にも、手術用ロボット「ダ・ヴィンチ」など、IT関連の進化には驚くばかりです。  
 人生100年時代と言われています。  
 となると、計算上では、私には、三、四・未来（十年）残ってることになります。  
 これからの人生、何が起きるか分かりませんが、時代の波に乗り遅れないよう、流されないよう生きていきたいと思えます。

内科医長 小林 賀奈子

20年といってもその前にレジデントとして勤務してましたので、正確にはもっといます（笑）。私がこの20年間やってこれたのはひとえに矢野副院長、呼吸器内科の仲間達のおかげです。これからも病院に愛情をもって働いていきたいと思えます。

副診療放射線技師長 藤本 和男

この度は永年勤続にて表彰していただき、誠にありがとうございます。この表彰は、今までの20年間を振り返る良い機会となりました。この20年間で5施設の転勤を経験しました。その中で多くの人達と出会い、たくさんのことを教わり、さまざまな経験をさせてもらいました。うまく経験を活かせることもあれば、失敗をその後につなげられなかったことも多々ありました。これからも、まだまだ失敗をたくさんして？将来の成功につなげられるようにしたいと思います。次の目標である勤続30年になるまで精進して参りますので、今後ともよろしく願い申し上げます。

看護部 看護師長 伊田 絵理香

永年勤続20年の表彰をして頂いたことの喜びと感謝を最初に伝えたのは、母でした。夜勤の度に広瀬町から鳥取市に子どもたちの面倒を見に来てくれたおかげで看護師として働き続けることができたからです。これからも感謝を忘れずに続けていこうと思えます。

看護部 看護師長 坂本 栄美子

患者さんや職場の皆さん、そして家族に支えられた20年間であったと思います。浜田医療センターでは、救急、急性期看護を経験し、松江医療センターでは、慢性期、重症心身障がい児者、筋ジストロフィーの看護を経験させていただき、多くのことを学ばせていただいています。これからも目の前のことから逃げずに、「やらずに後悔するよりもやって反省すべし」の精神で働き続けたいと思えます。

療育指導室長 野津 悦子

今回表彰していただけたのは、これまで勤務した各施設でご指導いただいた職員の皆さん、患者さん、患者さんのご家族など多くの方々のおかげがあったからだと感謝の気持ちでいっぱいです。4回の異動で出会えた患者さんとの思い出は私の宝です。  
 これからも周りの方々へ感謝の気持ちを忘れず、日々、歩んで参りたいと思えます。  
 このような機会をいただき、ありがとうございました。

看護部 看護助手 出島 順子

20年の間に一般・筋ジス・重心障がい者病棟で多くの患者さんと出会い、別れもありました。今でも初めてお見送りした患者さんのことは忘れられません。医療的なことは出来ませんが、世の中の環境が変わりつつある中で、看護助手として患者さんが少しでも心地良い環境の中で療養できるよう、常に患者さんの目線に立ち、一人一人に寄り添っていかれたらと思っております。



## 第73回 国立病院総合医学学会に参加して

2階病棟 看護師 **堀内 文恵**



11月8日、9日に名古屋国際会議場で開催された国立病院総合医学学会に参加しました。私は、「重症心身障がい児者・筋ジストロフィー病棟に勤務する看護師のジレンマ」についてポスター発表を行いました。たくさんの聴衆の前での発表はとても緊張しましたが、良い経験になりました。他病院の研究発表を聞き、どこの病院も同じような思いを抱えて日々看護を実践していることが分かりました。困った時や大変な時は、一人で抱え込まずにみんなで情報を共有しながら看護をしていくことの大切さを感じました。

今回の学会で学んだことを今後の自身の看護に生かし、患者さんにより良い看護が提供できるようにスタッフ皆で協力していきたいです。



4階西病棟 看護師 **陰山 朋美**



11月8日、9日に名古屋国際会議場で行われた第73回国立病院総合医学学会に参加させていただきました。私は、高齢者看護のブースで「認知症対応力向上研修受講の有無による認知症高齢者の転倒予防への認識の違い」についての研究を口演発表しました。はじめての発表で、緊張しましたが、無事に発表を終えることができました。病棟看護師の協力のおかげでこの研究発表にまで辿りつけたことを感謝します。この研究結果をもとに、患者様の気持ちに寄り添って、認知症高齢者の患者様が転倒しないように介入していきたいです。また、この高齢者看護のブースでは、院内デイケア活動についての研究が多くありました。それぞれの患者様にあったデイケアの実践を聞き、QOLを維持し入院生活を過ごしていただけるために、改めてデイケアの大切さを学びました。

この学会に参加し、高齢者看護を振り返る機会となりました。この振り返りを今後の看護に生かしていきたいです。



4階東病棟 看護師 **小谷 彩佳**



11月8・9日に名古屋国際会議場で開催された第73回国立病院総合医学学会に参加し、「パーキンソン病患者のリハビリテーション入院に対する看護師の意識」についての看護研究を発表しました。全国の病院から多くの参加者が集まる学会で緊張しましたが、無事に発表を終えることができました。また、普段関わることのない急性期治療の症例や、色々な職種の研究発表を聞き、良い学びの機会となりました。

現在4階東病棟では、パーキンソン病患者のリハビリテーション入院が増えています。病状の進行に伴う身体機能の低下を予防し長く機能が維持できるよう、日常生活への援助を行っています。また入院時から多職種と連携し、退院に向けてゴールを確認しながら関わっています。今後は研究結果を踏まえてより看護の質を高められるよう、患者に関わる多職種と連携し、看護を行っていききたいと思います。

5階病棟 看護師 **森山 奎汰**



私は今回、11月8日、9日にわたり開催された、第73回国立病院総合医学会に参加しました。

他職種が全国から集まる学会への参加は初めてで、これまでに参加した学会では、看護師目線での研究や取り組みの発表が主でしたが、今回の学会では他職種の方々も研究発表をされており、看護師とは違ったアプローチの方法や視点を学ぶ機会になりました。

また、掲示されているポスターの中には当院にない診療科の看護についての報告も多くあり、異なる科の看護師やコメディカルの介入方法を知ること、自らの看護を振り返る機会にもなりました。

ポスター会場では多くの人がいる中で発表で、来年度自分が発表する際の参考にしたいと感じました。

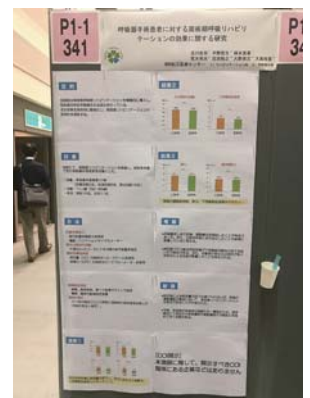
また、現在私が行っている看護研究の参考になるものはないかという思いも持って今回の学会に参加しました。しかし、演題の中に類似したものはなく、残念であると同時に現在行っている研究は先行研究に乏しい分野であり、研究を行うことへの思いを新たにすることができました。

今回は貴重な学会参加への機会となりとても良い学びになりました。



リハビリテーション科 理学療法士 **吉川 征弥**

11月8日に名古屋国際会議場で行われた第73回国立病院総合医学会に参加し、「呼吸器手術患者に対する周術期呼吸リハビリテーションの効果に関する研究」というテーマで、ポスター発表をしました。これまでは学会に参加して発表を聞く立場でしたが、今回は発表者として自分の研究について質問や指摘、意見などをいただき、新たな視点から自分の研究を見つめ直すことができました。また、同じセッションの発表者とも交流することができ、他施設での取り組みを聞くことで今後の臨床にも繋がる良い機会にもなりました。

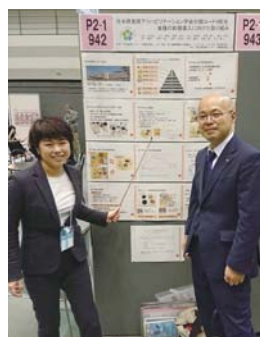


国立病院学会の参加は昨年度より考えており、荒木先生をはじめとした呼吸器外科の先生方やリハビリテーション科スタッフの協力と指導があり、無事に研究を行うことができました。今後は症例数や評価内容を増やし、他の学会でも発表したいと思います。

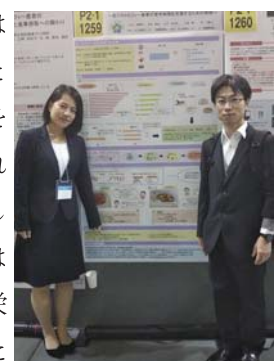


栄養管理室 主任栄養士 **今津 健一** 栄養士 **山下 紗也佳** 栄養士 **丸子 麻唯彩**

11月8日、9日に名古屋国際会議場で第73回国立病院総合医学会が開催され、栄養士は今年就職した1名を含む3名が参加しました。2名は日常取り組んでいる業務内容をま



とめて、ポスターとして発表し、1名は他施設と共同で行った研究をスライドにして発表しました。内容がわかりやすく、正しく伝えられるようにと、何度も見直しや発表練習を繰り返しました。大変でしたが、当日は3人とも無事に発表することができました。会場では全国の様々な施設の取り組みを知る機会でもあります。他施設の栄養士と直接話して情報交換することで、自部署の業務の参考にしたり、新たな取り組みへの刺激になったりと、とても有意義な時間を過ごすことができました。今回は栄養士4名中3名が出席したので留守番栄養士は1人奮闘しました。ただ学会



への参加は日常業務だけでは得られない体験をするよい機会ですので、今後も業務負担に配慮しつつ積極的に参加したいと考えています。



療育指導室 保育士 **大島 麻貴**

11月8日、9日に行われた第73回国立病院総合医学会に参加させて頂きました。

私は「最期の日まで関わることでできたデュシェンヌ型筋ジストロフィー患者に対する保育士の関わり」という演題でポスター発表を行いました。自分の発表は3番目！5分前から心臓がドキドキ。緊張しすぎて…発表後覚えているのは言葉を詰まらせたことぐらいでしたが、フロアから「とても良い関わりをされていますね」と言葉を頂きとても嬉しく感じました。この学会を通して、自分の日々の関わりを振り返る機会となりました。そして自分の考えや思いを伝えることの難しさ、発表にあたっての準備の大変さ、とても良い経験になったと思います。

最後に学会参加にあたり、ご指導いただいた先生方、協力して下さった療育指導室の皆さん、そしてこの研究にあたって承諾をして下さった患者さんのご家族、亡くなられた患者さんに感謝したいと思います。ありがとうございました。



## 地域医療連携交流会

医療社会事業専門員 **松本 昌広**

令和元年10月24日に松江医療センター地域医療連携交流会（第13回）を、松江エクセルホテル東急において行いました。島根県医師会副会長、松江市医師会会長、地域（松江・雲南・出雲圏域）の医療機関の先生方にご出席頂きました。また他の医療機関からコメディカルの方のご参加も頂きました。昨年からはコメディカルの方のご参加を頂いていますが、コメディカルの方のご参加があることでチーム医療としての地域医療連携をより実感できます。当院から転院を打診した相手先の医療機関のコメディカルもご参加があり、当院の主治医と相手先の転院調整を担うコメディカルとの引見、会話の交流も促し、親しみをもった懇親がなされました。全体を通して交流会の参加者の懇親は硬くない、ゆったりと賑やかな様子で、あちらこちら会場中で懇親がなされた交流会でした。また交流会の前には肺疾患懇話会も行いました。交流会、懇話会にご参加いただいた皆様ありがとうございました。





# 松江呼吸器セミナーを終えて

統括診療部 診療看護師 中村 光太

皆様いつもお世話になっております。診療看護師の中村です。今回は11月30日に当院にて開催された松江呼吸器セミナーについて報告させていただきます。

松江呼吸器セミナーは院内外の呼吸療法のレベルアップを目的に開催され、今回で10回を迎えました。当セミナーは「3学会合同呼吸療法認定士」のポイントを手陰で取得できる貴重なセミナーでもあります。当院がセミナーを開催する以前はポイント取得のために、山陽、近畿まで足を伸ばす必要があったため、山陰で呼吸療法認定士を目指す医療関係者にとっては受講必須のセミナーの一つです。

今回の松江呼吸器セミナーのテーマは「痰を出す！」でした。第1回のテーマが「排痰のコツ教えます！」であり、原点復帰ということになります。今回、我々は薬剤師、臨床工学技士、



理学療法士、看護師、医師のそれぞれの立場から最新の知見とスタンダードな知識を融合させ、排痰に対するアプローチについて講義させていただきました。手前味噌ではありますが、各講義ともかなり充実した内容であったと自負しております。私も吸痰行為を最新のガイドラインに基づき手技の解説をさせていただきました。

今回松江呼吸器セミナーの講義を通して、他職種の知見を学ぶことができたのみならず、私自身の知識も整理することができました。このような機会を与えてくださり感謝しております。

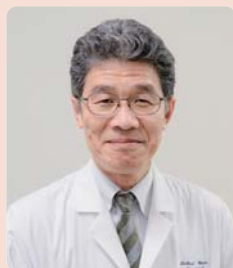
また次年度の松江呼吸器セミナーもご参加のほど宜しくお願いいたします。



## 医師紹介

副院長(経営担当)

井岸 正



令和2年1月1日付で着任いたしました。こちらでお世話になるまでは、鳥取大学医学附属病院 卒後臨床研修センター専門教育研修部門に在籍し、

専門医研修に関する業務を担当していました。臨床面では呼吸器・膠原病内科において、主に呼吸器疾患の診療や研究に携わってまいりました。およそ30年前に松江で勤務したことはありますが、松江医療センターについては不慣れであります。ただ、鳥取大学医学部附属病院で同時期に勤務したり、学会や研究会等で懇意にいただいた先生方も多く、心強く感じております。皆様方のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。





## 「令和最初の1階病棟忘年会」



療育指導室 児童指導員 門口 祐子

12月11日水曜日、1階病棟で「令和最初の忘年会」を行いました。食事会ではお寿司とカニ味噌汁、温野菜サラダ、カラオケ喫茶会では温かい飲み物とスイーツを楽しみました。午後のカラオケ喫茶会では、しっとりとした大人の雰囲気、楽しい映像と爽やかな皆さんの歌声を楽しみました。

クリスマスプレゼントは、皆さんとお話をしながら居室を訪問しました。「何のプレゼントかな？」とドキドキしながらの開封だったのではないのでしょうか。

令和元年も残すところあとわずかになりました。ゆく年くる年に思いを馳せながら、丁寧に日々を過ごせたらと思います。



## 「第156回 松江医療センター 肺疾患懇話会 特別講演会」を開催して

教育研修部副部長 古門 千代美

“松江医療センター肺疾患懇話会 特別講演会”は、当院が地域支援として近隣の開業医の先生方にご参加いただき開催する伝統の勉強会で、数えること第156回となりました。今回は12月5日（木）、ホテル一畑での開催となりました。

特別講演は毎回、呼吸器疾患の診療で活躍中の先生をお招きしています。今回は京都大学医学部附属病院リハビリテーション部 病院講師 佐藤晋先生に「COPDの包括的治療戦略最前線」についてご講演いただきました。講演では薬物療法、理学療法、栄養など多方面からの包括的な治療と患者支援（セルフマネジメント教育）を行うことで呼吸機能を維持できることについて事例を取り入れ紹介していただきました。



また一般講演は、「間質性肺炎 疑うことから始めよう」と題して、当院の教育研修部長、呼吸器内科医長の門脇 徹医師が行いました。当日は、他の研究会の開催がある状況ではありましたが、医師、薬剤師、理学療法士、看護師など40名の方にご参加いただき盛況に終えることができました。



お忙しい中、多数の皆様にご参加いただき有難うございました。引き続き“松江医療センター肺疾患懇話会”をよろしく願いいたします。



## 松江を駆ける

庶務班長 星原 昌美

松江市に「大社」があるのをご存知でしょうか。島根県といえば真っ先に出雲大社ですが出雲大社は出雲市にあります。そして松江市には出雲国一宮の熊野大社があります。

出雲国一宮は出雲地方で最も格式が高い神社のことで出雲大社も出雲国一宮です。

主祭神は素戔鳴尊（すさのおのみこと）の別称である加夫呂伎熊野大神櫛御気野命（かぶろぎくまのおおかみくしみけぬのみこと）です。素戔鳴尊を祭る神社は数多くあります。



写真は日本最古の和歌といわれている「八雲立つ 出雲八重垣 妻籠に 八重垣作る その八重垣を」にちなんだ石碑です。また、国歌「君が代」に歌われるさざれ石は平成12年に奉納されたものです。

出雲地方には有名な神社以外にも古墳なども多いので壮大な古代ロマンに思いを馳せてみてはいかがでしょうか。



**出前講座に行ってきました★**

老人看護専門看護師 **山根 裕子**

令和元年11月22日（金）隠岐の島町の特別養護老人ホーム清和園で『認知症の理解』をテーマに講演を行いました。介護福祉士（約半数）・看護師（約3割）・ケアマネージャー・リハビリテーション職員など、隠岐共生学園の各施設から、45名にお集まりいただきました。

講演後のアンケートでは、31名からご回答をいただきました。日々、認知症をもつ方と接していらっしゃる職員の皆様ですが、約7割の方に認知症に対する考え方が「変わった」「大きく変わった」とお答えいただくことができました。また、今回の研修を通し、「認知症の症状や対応方法が分かった」「講座を受けてよかった」「わかりやすかった」といったご意見もいただくことができました。

日々、認知症をもつ方の生活援助をしていらっしゃる職員の皆様から、施設での認知症ケアの困難さ、そして楽しさについてお聞きする機会となり、私自身たくさんの学びを得ることができました。今後も、地域の医療・介護に携わる皆様と学び合い、認知症ケアや高齢者ケアの質向上のために貢献することができればと思います。

松江医療センターでは市民への啓発活動や出前講座の実施だけでなく、施設等からの依頼もお受けしております。お気軽にご連絡ください。

出前講座に対するお問い合わせ先  
松江医療センター 地域医療連携室  
☎0852-24-7671



**出 前 講 座**

言語聴覚士 **西尾 淳**



昨年、隠岐の島町に「誤嚥性肺炎の予防について」をテーマとした出前講座に行ってきました。当初の予定が荒天によるフェリー欠航で延期になるなど、隠岐出張ならではのちょっとしたアクシデントもありつつ、無事10月末に訪問することができました。

隠岐共生学園グループの老人保健施設や訪問看護のスタッフの皆さんに摂食嚥下の仕組みや、誤嚥性肺炎にならないための注意点など、基礎的な内容を中心にお話させて頂きました。40名ほどの参加者があり、つたない講義ながらも熱心に聞いて頂き、「わかりやすかったです」とありがたいお言葉も頂くことができました。また、講義の前後で個別に質問、相談もありました。隠岐の島町には言語聴覚士が不在で、摂食嚥下に関しての専門的な評価が難しく、対応に苦慮されることも多いようです。今回の講義が多少なりとも利用者さんへの日々のケアの一助になってもらえたらと思います。

翌日の休日は壇鏡の滝、那久岬、屋那の松原などなど隠岐島後の名所を駆け足で見て回りました。ユネスコも認めた隠岐の景観は圧巻で、「次はゆっくりと巡ってみたいなあ」などと帰りのフェリーの中で思いつつ帰路につきました。

松江医療センター 呼吸器病センター

## 出前講座のご案内

松江医療センターでは、健康啓発を目的としてスタッフによる出前講座を無料でを行っています。皆様の職場、学校、公民館などに出向き、各分野の専門性を活かして医師、認定看護師、コメディカルが講演いたします。

テーマ	時間	実技・講演	講師
禁煙	60分	講演	医師
COPD	60分	講演	医師
肺癌	60分	講演	医師
結核	60分	講演	医師
間質性肺炎	60分	講演	医師
気管支喘息	60分	講演	医師
誤嚥性肺炎	60分	講演	医師
肺がんの早期発見・早期治療	60分	講演	医師
認知症 (ものわすれ)	60分	講演	医師
パーキンソン病 パーキンソン症候群	60分	講演	医師
手のふるえ	60分	講演	医師
呼吸機能検査のすすめ	20～30分	講演	検査科職員
感染症検査(結核・ウイルス性・感染等)	20～30分	講演	検査科職員
肺疾患に関わる検査	20～30分	講演	検査科職員
～食欲のない時に～ 病院の人気メニュー教えます	20分	講演	管理栄養士
～食欲のない時～ 補助食品について	20分	講演	管理栄養士
パーキンソン病のリハビリテーション	60分	実技・講演	理学療法士
「タバコ肺」に負けない！体操と呼吸法	60分	実技・講演	理学療法士 呼吸療法認定士
介護保険申請について	30分	講演	ソーシャルワーカー
安全においしく食べるために ～お家でできる摂食嚥下リハビリ～ (お口のケアを含めて)	60分	実技・講演	摂食嚥下認定看護師
おうちでできる栄養サポート ～元気でおいしく食べるための健康づくり～	60分	実技・講演	摂食嚥下認定看護師
インフルエンザについて ・インフルエンザに関する全般的なおはなし ・ワクチンのおはなし	60分	講演	感染管理認定看護師
食中毒について	60分	講演	感染管理認定看護師
感染症に関するお悩み相談	60分	講演	感染管理認定看護師
今増えています！在宅酸素療法について知ろう	60分	講演	慢性呼吸器疾患看護認定看護師
息切れ…これってホントに加齢のせい？ ～息切れの原因と予防法について	60分	講演・実技	慢性呼吸器疾患看護認定看護師
肺がん抗がん剤治療と副作用対策	60分	講演	がん化学療法看護認定看護師
認知症って何？ ～身近におられる認知症の方との接し方のこつ～	60分	講演	老人看護専門看護師 (認知症キャラバンメイト)

ご要望がございましたら下記へご連絡ください。

国立病院機構 松江医療センター  
地域医療連携室  
TEL: 0852-24-7671



# 開業医紹介コーナー

## 病病・病診連携 No.28 大国内科クリニック

みなさんこんにちは。

私は島根医科大学（現、島根大学医学部）を2期生として入学し昭和58年に卒業しました。卒業後は約15年大学に勤務し、約15年病院勤務医（最後は松江市立病院）として働き、平成23年に松江市乃木福富町に開院致しました。専門は糖尿病や内分泌、甲状腺疾患で、患者さんは糖尿病や甲状腺疾患が圧倒的に多いです。スタッフは全員で9名（常勤8名、パートの看護師1名）で、検査技師2名、栄養士1名が常勤し、合併症の検査や糖尿病などの生活習慣病の生活指導、甲状腺腫瘍のエコー下吸引細胞診などもしています。松江医療センターの呼吸器内科・外科の先生方には睡眠時無呼吸症候群、重症肺炎、難治性の気管支喘息、COPD、肺がんなど、多くの患者さんを紹介させて頂いております。紹介後の適切な診断、治療、詳細な情報提供書は大変助かっております。



今後とも呼吸器疾患や神経難病患者さんを貴院に紹介する機会が多いと思いますが、何卒よろしく願いいたします。

院長 大國智司（日本内科学会認定医、日本糖尿病学会専門医、  
日本内分泌学会専門医、日本甲状腺学会専門医）



大国内科クリニック  
〒690-0046 島根県松江市乃木福富町413-2

診療受付日・診療時間

診療時間	月	火	水	木	金	土
AM 9:00~12:00	●	●	●	●	●	~13:00
PM 15:00~18:30	●	●	●	/	●	/

\*休診日/木曜午後・日曜・祝祭日

# 地域医療連携室だより 第37号

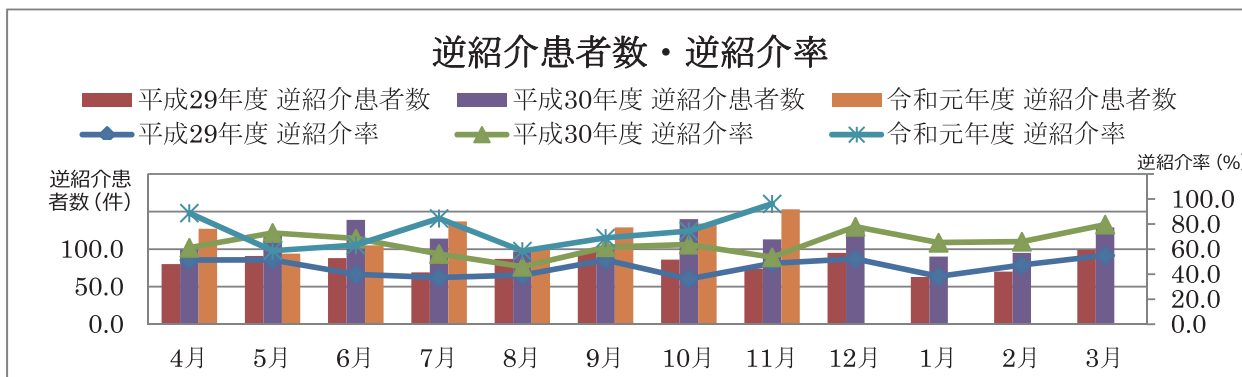
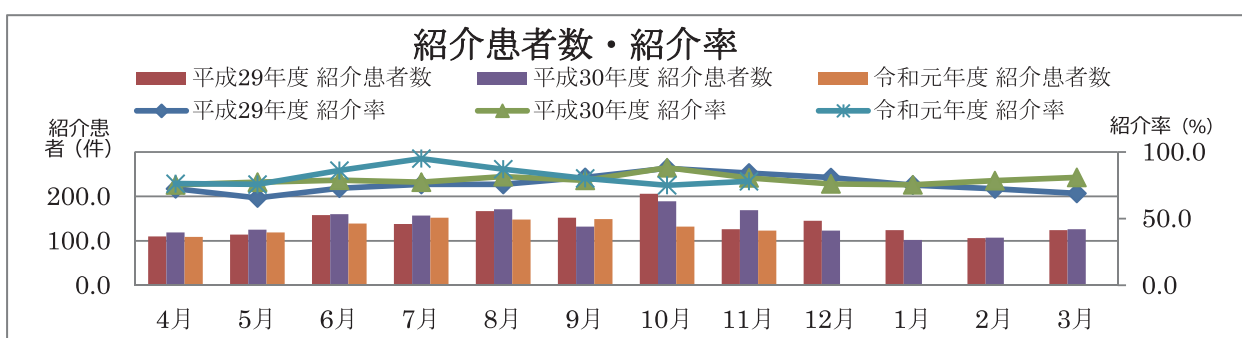
2020年1月



## 【時間外の対応について】

呼吸器疾患で緊急にご紹介いただく患者さまに  
つきましては**24時間対応**させていただいておりますので  
夜間・休日に関わらず下記にご連絡ください。  
☎0852-21-6131 (代表) または 0582-24-7671 (地連)

### 1. 紹介患者数・紹介率／逆紹介患者数・逆紹介率の推移



### 2. 退院支援データ 毎週対象病棟で退院支援カンファレンスを実施しています。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
退院支援患者 (人)		194	178	198	201	201	178	211	199				
退院先	在宅 (人)	112	83	111	120	104	102	118	106				
	施設 (人)	1	2	1	2	2	5	1	2				
	病院 (人)	16	7	7	13	10	13	10	13				



※逆紹介率とは、当院から開業医さんや他の病院へ紹介させて頂いた患者さんの割合です。  
逆紹介率＝逆紹介患者数÷初診患者数(休日、夜間の救急患者数を除く。)



# 全国141の病院

130. 熊本再春医療センター 	118. 大牟田病院 	101. 東広島医療センター 	93. 米子医療センター 	86. 兵庫あおの病院 	79. 南京都病院 	72. 敦賀医療センター 	66. 東尾張病院 
131. 大分医療センター 	119. 福岡東医療センター 	102. 賀茂精神医療センター 	94. 松江医療センター 	87. 兵庫中央病院 	80. 大阪医療センター 	73. あわら病院 	67. 豊橋医療センター 
132. 別府医療センター 	120. 佐賀病院 	103. 関門医療センター 	95. 浜田医療センター 	88. 奈良医療センター 	81. 近畿中央呼吸器センター 	74. 東近江総合医療センター 	68. 三重病院 
133. 西別府病院 	121. 肥前精神医療センター 	104. 山口宇部医療センター 	96. 岡山医療センター 	89. やまと精神医療センター 	82. 大阪刀根山医療センター 	75. 紫香楽病院 	69. 鈴鹿病院 
134. 宮崎東病院 	122. 東佐賀病院 	105. 岩国医療センター 	97. 南岡山医療センター 	90. 南和歌山医療センター 	83. 大阪南医療センター 	76. 京都医療センター 	70. 三重中央医療センター 
135. 都城医療センター 	123. 埴野医療センター 	106. 柳井医療センター 	98. 呉医療センター 	91. 和歌山病院 	84. 神戸医療センター 	77. 宇多野病院 	71. 榊原病院 
136. 宮崎病院 	124. 長崎病院 	114. 小倉医療センター 	99. 福山医療センター 	92. 鳥取医療センター 	85. 姫路医療センター 	78. 舞鶴医療センター 	
137. 鹿児島医療センター 	125. 長崎医療センター 	115. 九州がんセンター 	100. 広島西医療センター 				
138. 指宿医療センター 	126. 長崎川棚医療センター 	116. 九州医療センター 					
139. 南九州病院 	127. 熊本医療センター 	117. 福岡病院 					
140. 沖縄病院 	128. 熊本南病院 						
141. 琉球病院 	129. 菊池病院 						

111. 四国がんセンター 	109. 高松医療センター 	107. 東徳島医療センター 
113. 高知病院 	112. 愛媛医療センター 	110. 四国こどもとおとなの医療センター 
		108. 徳島病院 



# ネットワーク

The image displays a map of Japan divided into numbered regions, with corresponding photographs of hospitals and medical centers. The regions are color-coded: purple for Hokkaido, blue for Tohoku, pink for Kanto, green for Chubu, and light green for Shikoku and Kyushu.

Region	Hospital Name	Image
Hokkaido	1. 北海道がんセンター	[Image]
Hokkaido	2. 北海道医療センター	[Image]
Hokkaido	12. 岩手病院	[Image]
Hokkaido	22. 水戸医療センター	[Image]
Tohoku	3. 函館病院	[Image]
Tohoku	4. 旭川医療センター	[Image]
Tohoku	5. 帯広病院	[Image]
Tohoku	6. 八雲病院	[Image]
Tohoku	7. 弘前病院	[Image]
Tohoku	8. 八戸病院	[Image]
Tohoku	9. 青森病院	[Image]
Tohoku	10. 盛岡医療センター	[Image]
Tohoku	11. 花巻病院	[Image]
Tohoku	13. 釜石病院	[Image]
Tohoku	14. 仙台医療センター	[Image]
Tohoku	15. 仙台西多賀病院	[Image]
Tohoku	16. 宮城病院	[Image]
Tohoku	17. あきた病院	[Image]
Tohoku	18. 山形病院	[Image]
Tohoku	19. 米沢病院	[Image]
Tohoku	20. 福島病院	[Image]
Tohoku	21. いわき病院	[Image]
Tohoku	23. 霞ヶ浦医療センター	[Image]
Tohoku	24. 茨城東病院	[Image]
Tohoku	25. 栃木医療センター	[Image]
Tohoku	26. 宇都宮病院	[Image]
Tohoku	27. 高崎総合医療センター	[Image]
Tohoku	28. 沼田病院	[Image]
Tohoku	29. 渋川医療センター	[Image]
Tohoku	31. 埼玉病院	[Image]
Tohoku	32. 東埼玉病院	[Image]
Tohoku	33. 千葉医療センター	[Image]
Tohoku	34. 千葉東病院	[Image]
Tohoku	35. 下総精神医療センター	[Image]
Tohoku	36. 下志津病院	[Image]
Tohoku	37. 東京医療センター	[Image]
Tohoku	38. 災害医療センター	[Image]
Tohoku	39. 東京病院	[Image]
Tohoku	40. 村山医療センター	[Image]
Tohoku	41. 横浜医療センター	[Image]
Tohoku	42. 久里浜医療センター	[Image]
Tohoku	43. 箱根病院	[Image]
Tohoku	44. 相模原病院	[Image]
Tohoku	45. 神奈川病院	[Image]
Tohoku	46. 西新潟中央病院	[Image]
Tohoku	47. 新潟病院	[Image]
Tohoku	48. さいがた医療センター	[Image]
Tohoku	49. 甲府病院	[Image]
Tohoku	50. 東長野病院	[Image]
Tohoku	51. まつもと医療センター	[Image]
Tohoku	52. 信州上田医療センター	[Image]
Tohoku	53. 小諸高原病院	[Image]
Tohoku	54. 富山病院	[Image]
Tohoku	55. 北陸病院	[Image]
Tohoku	56. 金沢医療センター	[Image]
Tohoku	57. 医王病院	[Image]
Tohoku	58. 七尾病院	[Image]
Tohoku	59. 石川病院	[Image]
Tohoku	60. 長良医療センター	[Image]
Tohoku	61. 静岡てんかん・神経医療センター	[Image]
Tohoku	62. 天竜病院	[Image]
Tohoku	63. 静岡医療センター	[Image]
Tohoku	64. 名古屋医療センター	[Image]
Tohoku	65. 東名古屋病院	[Image]

外来診療表

お気軽にご相談下さい

令和2年1月1日現在

診療科	日	月	火	水	木	金	専門領域
呼吸器内科	岩本(初)	多田(初)	木村(初)	門脇(初)	池田(初)	【呼吸器内科】 矢野 修一 井岸 正 池田 敏和 小林賀奈子	【副院長】呼吸器一般 (肺循環・肺がん・結核他) 【副院長】呼吸器一般 【統括診療部長】呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般
	多田	小林	岩本	西川	木村	木村 雅広 門脇 徹	
	矢野	門脇	池田	坪内	小林	多田 光宏 岩本 信一 西川恵美子 坪内 佑介	
循環器内科						生馬	【循環器内科】 生馬 勲 循環器一般
脳神経内科	中島	古和	深田	足立	交替制	【脳神経内科】 中島 健二 足立 芳樹 古和 久典 細田 義人 下山 良二 深田 育代	【院長】脳神経内科 【臨床研究部長】脳神経内科 【診療部長】脳神経内科 脳神経内科・リハビリテーション 脳神経内科 脳神経内科
		下山		細田		【呼吸器外科】 荒木 邦夫 目次 裕之 大島 祐貴	
呼吸器外科	荒木		目次			荒木	【小児科】 齋田 泰子 久保田智香 松村 渉
	大島					大島	
小児科	久保田	齋田	齋田	久保田	齋田	齋田	【麻酔科】 西村友紀子 麻酔科領域
	発達 専門外来 (予約)	久保田 (予約)	(予約)	久保田 (予約)	(予約)	久保田	
予防接種		(予約)					
麻酔科	腰痛外来		西村 (予約)				【診療部長】呼吸器外科・一般外科 呼吸器外科・一般外科 呼吸器外科・一般外科
肺がん検診	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)		
特	睡眠時無呼吸外来				呼吸器内科 担当医(予約)		【小児科】 齋田 泰子 久保田智香 松村 渉
	息切れ 外来		呼吸器内科 池田(予約)				
殊	喘息 アレルギー外来					池田 (予約)	重症心身障害・小児神経・摂食機能障害 発達障害
	咳嗽外来					池田 (予約)	
外	禁煙外来				毎週木曜日 呼吸器内科 担当医(予約)		【麻酔科】 西村友紀子 麻酔科領域
	アスベスト 外来	多田 (予約)	木村 (予約)	門脇 (予約)			
来	もの忘れ外来		深田				診療時間 8:30~17:15 受付時間 8:30~11:30 自動再来受付 8:00~11:30 独立行政法人 松江医療センター 国立病院機構 呼吸器病センター 〒690-8556 松江市上乃木5丁目8番31号 電話 (0852) 21-6131(代) 医療連携室直通電話 (0852) 24-7671 医療連携室 F A X (0852) 24-7661
	セカンド オピニオン外来	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	

特 殊 外 来	肺がん検診	診療日：毎週月～金曜日 15:00～17:00 (要予約) 内容と特色：ヘリカルCTを使用し、小さな肺がんも発見できます。 料金5,400円
	睡眠時無呼吸外来	診療日：毎週木曜日 14:00～16:00 (要予約) 内容と特色：いびき、睡眠時無呼吸症候群の診断治療を行います。
	息切れ外来	診療日：毎週火曜日 13:00～15:00 (要予約) 内容と特色：息切れの診断と治療を行います。
	喘息アレルギー外来	診療日：毎週金曜日 9:00～12:00 (要予約) 内容と特色：成人気管支喘息、花粉症。個人個人に合わせた予防法、日常生活指導から最新の治療まで。
	慢性咳嗽外来	診療日：毎週金曜日 9:00～12:00 (要予約) 内容と特色：3週間以上長引く咳(せき)や喉の異常感でお悩みの方。
	禁煙外来	診療日：毎週木曜日 10:00～12:00 (要予約) 内容と特色：禁煙を希望される方の検査、診断と相談に応じます。
	アスベスト外来	診療日：毎週火・水・木曜日 8:30～11:00 (要予約) 内容と特色：石綿(アスベスト)曝露による肺障害を発見するための検査と診断を行います。
	神経難病外来	診療日：毎週火・木曜日 9:00～12:00 神経難病外来
	もの忘れ外来	診療日：毎週水曜日 9:00～12:00 内容と特色：もの忘れの診断と治療を行います。
	小児科発達専門外来	診療日：毎週月～金曜日 9:00～12:00 (要予約) 内容と特色：ことばや運動の発達の遅れ、低身長などの発育の異常、ひきつけなどの疾患に対する診断・治療療育相談を行っています。投薬、理学療法など通常治療のほかデイケアでの遊戯療法も行っていきます。
腰痛外来	診療日：毎週水曜日 9:00～12:00 (要予約) 内容と特色：主にぎっくり腰などの痛みの治療を行っています。薬物療法や神経ブロックなどで痛みの緩和を目指します。	
セカンドオピニオン外来	診療日：(完全予約制) 紹介状が必要です。 内容と特色：呼吸器・呼吸器外科・神経内科・小児科(筋ジスト)の専門医(医長)が担当いたします。	